

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成27年7月6日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原道弘		シート作成者名	小山大介			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし	
			主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。										
	事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
① 人権問題講演会を市内4中学校で開催します。(対象:主として各校生徒)														
② 各種行事にて啓発物品を購入・配布することにより、人権意識の高揚を図ります。														
③ 「人権の花運動」として、小学校へ花を贈り、花を栽培することを通じ、命の大切さや相手への思いやりを育ませ、豊かな人権感覚を身につけてもらう運動を開催します。														
④ 市職員人権問題研修会を開催します。														
⑤ 市民からの人権に関する相談を受け付け、対応する人権相談を行います。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標				
	人権問題講演会	市内中学校にて開催 開催数・参加人数		回・人	目標	4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人	4回・1,500人					
					実績	4回・1,280人	4回・1,410人							
	市職員人権問題研修会	開催数・参加人数		回・人	目標	4回・150人	4回・150人	4回・150人	4回・150人	4回・150人				
					実績	4回・112人	4回・176人							
	人権の花運動	開催数・参加人数		回・人	目標	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢	1回・150鉢				
実績					1回・150鉢									
DO	予算費目	会計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	人権対策費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円	千円	千円							
		県支出金	1,232		千円	1,032	千円	945	千円					
		地方債			千円	千円	千円							
		その他特定財源			千円	千円	千円							
		一般財源			千円	千円	千円							
	計(A)		1,232		千円	1,032	千円	945	千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500	人	2,941	千円	0.500	人	2,887	千円	0.500	人	2,905	千円
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円
全体事業費(A+B)		4,173		千円	3,919	千円	3,850	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	「人が人間らしく生きていくために社会により認められている権利」たる人権は、誰からも犯されることなく尊重されなければなりません。人権意識を醸成させるこの事業は、社会にとって必要不可欠なものです。継続して推	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	平成20年度から、人権問題講演会を1箇所増やし、市内4中学校で実施しています。また、市民の関心度が上がる啓発活動・「人権の花運動」等を実施することで、人権意識形成の成果が上がっています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	講演会の参加数については、一般市民の参加がやや低調となる傾向があるため、今後はより効果的な広報方法を検討し、より多くの方に参加してもらえよう努めるとともに、講師の選択などにおいっそうの努力をしたいと思います	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	各行事実施にあたって、効果的に行うことができました。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	講演会等につき、より多くの市民・市職員に参加を促し、一層の人権意識の高揚に努めていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	人権問題講演会については、市民に対し、ACNの文字放送で周知するとともに、市職員に対し多くの参加を要請します。講演内容について十分検討し、最良の講師を選びたいと思います。「人権の花運動」については、毎年開催し、児童に豊かな人権感覚を身につけてもらいたいと思います。					人権啓発は、地道な活動であります。人としての根幹をなすものです。限られた予算で講師の選択にも悩まれることと思いますが、関係部局とも協議をし、感性に訴え続けて下さい。ただ、市民・職員等への参加に尚努力をお願いします。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	2	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業	事務事業名	人権擁護委員活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成27年7月6日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原道弘		シート作成者名	小山大介			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
			主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	すべての人々が尊重され、相互に共存しうる平和で豊かな社会の実現。									
			今年度		人権相談所を開設し、市民等の人権を守ります。人権の花運動・人権パレード・街頭啓発等を実施し、市民等の人権意識の高揚を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 特設人権相談を毎月、市内2会場で2回開催します。													
	② 中学生によるブラカード隊・小学生による鼓笛隊を先頭に、人権擁護委員・市職員・教員が啓発物品を配布しながら、人権啓発パレードを実施します。													
	③ 街頭啓発を量販店で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。													
	④ 「人権の花運動」として、小学校へ花を贈り、花を栽培することを通じ、命の大切さや相手への思いやりを育ませ、豊かな人権感覚を身につけてもらう運動を開催します。													
	⑤ 広報者にて啓発広報を行ったり、文字放送・広報誌記事等を活用して啓発活動を周知することで、市民の人権意識の高揚を図ります。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		最終目標		
	人権相談	毎月市内2箇所で開催		回	目標	50回		50回		50回		50回		
					実績	41回		39回						
	人権パレード	年1回開催		回	目標	1回		1回		1回		1回		
					実績	1回		1回						
	人権の花運動	開催数・花束贈呈		回・鉢	目標	1回・150鉢		1回・150鉢		1回・150鉢		1回・150鉢		
実績					1回・150鉢		1回・150鉢							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	4 人権対策費	
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源			394 千円			350 千円			350 千円			
	計(A)				394 千円			350 千円			350 千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,941 千円		0.500 人	2,887 千円		0.500 人	2,905 千円				
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)				3,335 千円			3,237 千円			3,255 千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		1.	2.	3.	4.	総合	○ 少ない	● 大きい	人権擁護委員の設置は法律で義務付けられております。また、人権擁護委員は、市民の基本的な人権が侵犯されたときは救済の支援等を行う等、人権思想普及高揚に努めています。人権擁護委員の活動について、支援す	○ 少ない	● 大きい		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい								○ 少ない	● 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある								○ ない	● ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない								○ ある	● ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない								○ いる	● いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる					人権擁護委員活動を支援することにより、市民の基本的な人権が守られ、人権意識の高揚が促進されて、安心できる住みよい町づくりが実現します。	○ いえない	● いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる						○ いえない	● いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ する	● しない						○ する	● しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる						○ できない	● できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている						定期的に特設人権相談を開設していること、ボランティアで学校・保育所関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚活動を行っていること等を鑑みて、目標は達成できていると考えます。	○ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない							○ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ 概ね達成している							○ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	● 十分達成している							● 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当					人権擁護委員10名とも、阿波市全体を対象に効率的に活動しています。	○ 高い	● 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない						○ できる	● できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない						○ ある	● ない		
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止				
	当面の課題	平成21年1月13日徳島法務局管内の徳島地区協議会に加盟し、広く他地域の活動を見聞したこと、また活動拠点となる事務所(吉野支所北)を提供したこともあり、自主的に、阿波市全体の人権意識の普及・高揚のための活動を行っています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	事務所を提供したこともあり、自主的に試行錯誤しながらより一層の活動をしています。人権啓発活動のネットワークを図るため、人権擁護委員活動について必要に応じた連携強化・支援がなされるべきと考えます。					限られた予算の中で、色々工夫を凝らした人権啓発活動が行われていることに感謝します。今後とも連携を密にし、活動の総括もしながら継続した取り組みをしてください。							
委員会指摘事項													



阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	3	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	平成27年7月1日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	松永 建志			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(3)コミュニティ活動の促進		<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし	
			主要施策		(2)コミュニティ施設の整備		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	公会堂・老人ルーム条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	各行事・集会のため、会場を提供することで生活を健全で豊かなものとし、社会福祉の増進を図ります。また、災害時の自主避難場所として提供し、市民の生命を守ります。									
			今年度		各公会堂・老人ルームにおいては、老朽化が進んでおり、破損箇所が多く見られます。各行事・自主避難時に安全に使用出来るよう年次的に修繕を行います。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各施設を訪問・点検すると共に、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕箇所を設定します。													
	② 破損箇所の早期発見。													
	③ 施錠等の施設管理。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
					目標	300回・2,000人	300回・2,000人	300回・2,000人	300回・2,000人					
					実績	208回・1,640人	198回・1,628人							
					目標									
					実績									
					目標									
				実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	6・7	公会堂・老人ルーム管理費
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源			2,839 千円			3,417 千円			3,713 千円			
		計(A)			2,839 千円			3,417 千円			3,713 千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人		588 千円	0.200 人		1,155 千円	0.200 人		1,162 千円			
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円	0.000 人		0 千円				
全体事業費(A+B)				3,427 千円			4,572 千円			4,875 千円				

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
		1.	2.	3.	4.	○ 少ない	● 大きい	地域の会合や人が交流できる場所を提供することで生活を健全で豊かなものとし社会福祉の増進を図ることが出来るとともに、災害時の身近な自主避難場所として必要です。	○ 少ない	● 大きい	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ 少ない	● 大きい	修繕により、使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し色々な会合に使用する事例があり、今後、他の利用の少ない施設についても修繕することで利用後向上が図れます。	○ 少ない	● 大きい		地域が近い、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。	○ 少ない	● 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ない	● ある		○ ない	● ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ いる	● いない		○ いる	● いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ いえない	● いえる	修繕により、使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し色々な会合に使用する事例があり、今後、他の利用の少ない施設についても修繕することで利用後向上が図れます。	○ いえない	● いえる	施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。	○ いえない	● いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	● する	○ しない		● する	○ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ できない	● できる		○ できない	● できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 目標に比べて劣っている	施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。	○ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ あまり上がっていない		○ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	● 概ね達成している		● 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ 十分達成している		○ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	予算にあわせ年次的に実施しています。ただ今後の公共施設の管理運営については、財政面や市民の行政参加の視点から自主管理運営の検討も必要です。	○ 高い	● 適当	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点	○ 高い	● 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	● ある	○ ない		● ある	○ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	4	3	3	3	A	4	3	3	3	A
		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止			○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止		
		施設が多いのですが、老朽化している施設も多く、全館で安全に使用出来るよう破損個所の修繕が必要です。				公共施設の設置目的の検証が図られようとしています。再度地域の利用状況並びに市民要望の把握に努めて下さい。					
改革案と実行計画	安全に使用出来るよう年次的に修繕していきます。破損個所を早めに発見し修繕費用を少なくします。使用度を上げるために地域活性化事業等を利用し、講座等開催し市民の利用できる機会を確保します。										
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	4	基本事務事業名	隣保館管理運営事業	事務事業名	吉野(中央・一条)ふれあいセンター基本事業	公的関与	6	シート作成日	平成27年6月30日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	近藤 侑香			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立		<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策		(3)隣保館事業の充実		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等						
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	地域社会全体の中で福祉の向上や、人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、各種相談事業や人権の解決のための各種事業を総合的に行うことを目的としています。										
			今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」拠点施設としての多様性を踏まえた隣保館活動を運営していきます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各種相談事業(職業相談・健康相談・生活相談・人権相談・教育相談)													
	② 地域交流事業(子ども会活動・俳句同好会・将棋教室・書道教室・日本舞踊・パッチワーク教室・絵手紙教室・墨絵教室・カラオケ・料理教室・国際交流・健康器具活用)													
	③ 啓発・広報活動(館だより発行・平和パネル展・講演会他)													
	④ 地域福祉事業(食生活改善事業・生活環境改善事業・ボランティア活動・独居老人訪問)													
	⑤ 施設利用者の充実													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	施設利用	年間延べ利用者数		人	目標	17000	18000	18000						
					実績	16939	17114							
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標	6000	8000	9000						
					実績	7973	8038							
	広報活動事業	年間実施回数		回	目標	12	12	12						
実績					6	12								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費	
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円	人件費(B)							
		県支出金	3,958	千円	3,390	千円	5,088	館長:2名						
		地方債		千円	千円	千円	臨時:4名							
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源	3,497	千円	3,965	千円	2,929							
		計(A)	7,455	千円	7,355	千円	8,017							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000	人	0	千円	1.000	人	5,774	千円	0.000	人	0	千円
		臨時・嘱託職種	隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長							
臨時・嘱託工数・経費		6.000	人	10,800	千円	5.000	人	9,000	千円	6.000	人	10,800	千円	
	全体事業費(A+B)		18,255	千円	22,129	千円	18,817	千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい	各種相談事業・講座の拡大に取り組んでいます。講座参加者を対象とした健康相談は高齢者の健康管理に役立っています。地域交流の場として日々多くの利用者が来館し、各種講座に参加し交流の輪を広げています。	<input type="radio"/>	少ない	<input checked="" type="radio"/>	大きい			
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		<input type="radio"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない		<input type="radio"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる	地域住民にとって交流の拠点となっており、気軽に利用できる開かれたコミュニティ施設としてかなり有効です。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる		<input type="radio"/>	いえない	<input checked="" type="radio"/>	いえる			
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	する	<input type="radio"/>	しない		<input type="radio"/>	する	<input checked="" type="radio"/>	しない			
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる		<input type="radio"/>	できない	<input checked="" type="radio"/>	できる			
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている	健康相談は相談者が多く健康管理意識の高さに驚きます。職業相談も毎回来館者が相談にきます。各種講座等への地域住民の参加を促すことにより、各種事業が達成できています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	あまり上がっていない		<input type="radio"/>	あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	概ね達成している		<input type="radio"/>	概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	十分達成している		<input checked="" type="radio"/>	十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当	住民相互の理解と交流が深まることによって、住民一人一人の人権意識が高まり他人の人権を尊重する意識が育まれています。	<input type="radio"/>	高い	<input checked="" type="radio"/>	適当			
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない		<input type="radio"/>	できる	<input checked="" type="radio"/>	できない			
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない		<input type="radio"/>	ある	<input checked="" type="radio"/>	ない			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	3	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	周辺地域を含めた地域づくりや住民の自主活動の支援や育成を図り、住民各層の連帯と交流の場として位置づいていますが、継続させていくことが大切です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	日常の具体的な行事についても、参加者と相談と協力を得ながら効果的に実施します。					地域住民の要望に応えると共に、地域の方々の連帯・交流の場として、今後も努力してください。							
委員会指摘事項													



阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	5	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	吉野柿原ふれあい会館基本事業	公的関与	6	シート作成日	平成27年6月30日			
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	三原 道弘	シート作成者名	近藤 侑香					
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
			主要施策		(3)隣保館事業の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域社会に密着し各種相談事業を総合的に 行い、人権問題に対する活動、解決をすることを目的としています。									
			今年度	これまで長年実施してきた事業を引き続き行う必要性と新たな事業の展開を目標に事業を運営していきます。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各種相談事業(職業相談・健康相談・生活相談・人権相談・教育相談)													
	② 地域交流事業(生花教室・書道教室・硬筆教室・ヒップホップダンス・ヘルスケア講座・館まつり・世代間交流)													
	③ 啓発・広報事業(館だより発行・人権啓発ビデオ・人権パネル展)													
	④ 地域福祉事業(独居高齢者訪問)													
	⑤ 施設利用者の充実													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	施設利用	年間延べ利用者数		人	目標	2500	2500	2700						
					実績	2103	2666							
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標	1000	1000	1100						
					実績	831	990							
	広報活動事業	年間実施回数		回	目標	15	15	15						
		実績	15		15									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円	人権費(B) 館長:1名 職員:1名		
		県支出金	1,665		千円	2,120		千円	1,852		千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	1,838		千円	1,551		千円	1,820		千円			
		計(A)	3,503		千円	3,671		千円	3,672		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000	人	5,882	千円	0.000	人	0	千円	1.000	人	5,809	千円
		臨時・嘱託職種	隣保館館長			隣保館館長			隣保館館長					
		臨時・嘱託工数・経費	2.000	人	3,600	千円	2.000	人	3,600	千円	1.000	人	1,800	千円
	全体事業費(A+B)				12,985	千円			7,271	千円			11,281	千円

		チェック項目				一次評価		一次評価の説明		二次評価	
						少ない	大きい			少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					相談事業をはじめ、啓発、広報や文化活動を実施しており、地域住民の活動拠点としての役割を果たす必要な場となっています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				類似した事業はあるが、地域住民にとって、身近な施設であり相談、交流事業に利用しやすくなっているため、コミュニティの場として有効と考えられます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				館まつり、地域交流事業では多数の参加、協力をしていただき地域に根付いた事業ができていますが、他の目的での来館者はあまりない状態です。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				小学校、中学校、高校、ぱあわあつぷ、NPOとの連携で効率的に運営しています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	広く人権に関する理解を深めるため、啓発、広報活動を行い、市民(地域住民)に有効な活動が望まれます。住民のニーズに応え、児童向けの講座を継続していきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	開かれたコミュニティセンターとしての運営をしていくため、対外的な交流を密にし、広報の有効活動により多くの参加者を増やし人権問題の解決をめざします。					地域の方々の高齢化が益々進んでおり、地域に根差した、地道な活動が必要不可欠です。少人数ですが、頑張ってください、期待しています。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	6	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	市場文化会館基本事業	公的関与	6	シート作成日	平成27年7月1日			
	部局名	市民部		課名	人権課	主務課長名	三原 道弘	シート作成者名	松永 建志					
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3)隣保館事業の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	人権尊重社会を確立する為、周辺地域とのふれあい交流と相談事業に取り組み、相談に応じると共に自立支援の適切な指導を行い、誰もが気軽に利用できる幅の広い交流の場として稼働率の向上を図ります。									
				今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての推進を図ることが大きな役割です。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各種相談事業(職業相談・人権相談・生活相談・教育相談)													
	② 地域交流事業(生花・硬筆書道・ビジョンヨガ講座・ぱあわーあつぷ・人権問題学習会(水友会・ひよこの会)・館まつり)													
	③ 啓発・広報活動(パネル展・啓発講演・館だよりの発行)													
	④ 地域福祉事業(独居老人交流会)													
	⑤ 施設利用の充実(親子会・外国人研修会・スポーツ少年団交流会・退公連本部役員会・地域資源保全隊・音楽練習ほか)													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	施設利用	年間延べ利用者数		人	目標	7,500	7,500	7,500						
					実績	5,580	4,450							
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標	2,000	2,000	2,000						
					実績	1,688	1,765							
	広報啓発活動	年間実施回数		回	目標	12	12	12						
実績					12	12								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
			平成	25	年度決算	平成	26	年度決算	平成	27	年度予算	備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円				人件費(B)		
		県支出金		1,926	千円		3,448	千円		3,356	千円	平成25年度:館長1名・職員1名		
		地方債			千円			千円			千円	平成26年度から:館長1名・臨時1名		
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源		2,696	千円		1,145	千円		1,910	千円			
		計(A)		4,622	千円		4,593	千円		5,266	千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000	人	5,882	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円
		臨時・嘱託職種	隣保館館長			隣保館館長			隣保館館長					
		臨時・嘱託工数・経費	1.000	人	1,800	千円	2.000	人	3,600	千円	2.000	人	3,600	千円
	全体事業費(A+B)			12,304	千円		8,193	千円		8,866	千円			

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	隣保館の主軸的事业は相談事業であり、館として地域の繋がりが、各行政との連携が大切です。館でも就職困難の中、無事に職場を紹介することは、嬉しく思います。これからも地域に密着した施設として必要性は大きいので			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	地域交流事業を通して、地域住民にとって気軽に利用できるコミュニティ施設として利用者数も増え、外国人研修の場として、又インターナショナル的な交流の場として有効です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	地域交流事業は講座生も多く、ばあわーあつぷとコラボして、研修会等を実施しています。又、館を知って頂き、館へ来て頂くことを目指して館まつりを実施し、数多くの方に参加して頂き、目的を十分に達成出来ています。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	小学校(ばあわーあつぷ)との連携、保護者会又ひよこの会・水友会(人権問題研修会)等の利用により人権意識が高まり、他人の人権を尊重し、効率的に運営していると考えられます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	地域住民の実態・ニーズを十分把握し、住民各層との連携と交流の場として位置付ける必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	講座以外に、カラオケ等の憩いの場・健康づくりのためのマッサージ機等利用などの事業を行う中で、もっと開かれた館づくりを目指します。					限られた人員で地域住民と連携を図り、事業目的に沿った地道な活動をされています。今後も尚一層、地域の方々と連携を強化し、拡大していきましょう。						
	委員会指摘事項												



阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	7	基本事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	公的関与	6	シート作成日	平成27年7月1日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原 道弘		シート作成者名	松永 建志		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		4. 生活基盤の充実したまちづくり				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(2)住宅施策の推進				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし	
		主要施策		(2)良質・安全な住宅建設及び改修の促進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		住宅新築資金等貸付に係る経過措置に関する条例	
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		住宅新築資金等貸付借入者									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	貸付金全ての償還								
				今年度	償還率向上のための徴収強化								
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 滞納徴収(催告書発送・電話催告・訪問徴収)												
	② 消し込み(徴収原簿・償還台帳)												
	③ 補助金申請(補助金申請事務)												
	④ 実績報告書作成												
	⑤ 貸付事業償還状況調書作成												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標			
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(現年度)		円	目標		1,200,000	1,200,000	1,100,000				
					実績		756,936	756,936					
	貸付事業償還額	住宅新築資金等償還額(過年度)		円	目標		3,500,000	3,500,000	3,500,000				
					実績		2,913,896	1,781,857					
						目標							
						実績							
	予算費目	会 計	一般会計			款	1	貸付事業	項	1	償還事務	目	1
DO	直接事業費	平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考					
		国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	1,725 千円		1,702 千円		1,634 千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	3,670 千円		2,538 千円		1,193 千円						
		一般財源	2,739 千円		1,557 千円		902 千円						
		計(A)	8,134 千円		5,797 千円		3,729 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.900 人	5,293 千円	0.900 人	5,197 千円	0.900 人	5,228 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		13,427 千円		10,994 千円		8,957 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	貸付事業の償還事務であり、償還の約定期間中のため廃止できません。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	償還中の貸付事業のため事業は継続になります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input checked="" type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標設定に達していません。今後の徴収強化が必要です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	システム導入により管理コスト削減が見込めますが導入コストとの費用対効果は見込めません。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価												
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 1	効率性 1	総合評価 B	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	死亡・病気・高齢・破産・行方不明等による長期滞納案件の対策が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	滞納者の状況把握に努め、貸付金の徴収事務の見直しをするとともに、回収方法について法的措置も含めた検討が必要になります。					一層の収納努力と事業内容の一層の把握と整理をしてください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	11	—	8	基本事務事業名	男女共同参画推進事業	事務事業名	男女共同参画推進事務	公的関与	1	シート作成日	平成27年7月6日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	三原道弘		シート作成者名	小山大介				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(2) 男女共同参画社会の形成				<input type="radio"/> 1 該当		平成 19 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	主要施策		(2) 男女共同参画社会への意識改革の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		男女共同参画社会基本法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民、行政、企業、市民団体											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	広報・啓発活動や学校教育、生涯学習など様々な場を通じ、男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直しや意識改革を推進し、男女共同参画社会の実現を図ることを目的とします。											
			今年度	男女共同参画社会実現への意識改革を推進していきます。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 講演会の開催														
	② 広報誌での啓発活動														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	「男女共同参画社会」という用語の周知度		阿波市男女共同参画基本計画数値目標より(平成21年度)		%	目標	100	95	95	100					
						実績	33	78							
	「男女雇用機会均等法」という用語の周知度		"		%	目標	100	95	95	100					
						実績	54								
	「DV防止法」という用語の周知度		"		%	目標	100	95	95	100					
					実績	68									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	人権対策費
			平成 25 年度決算	平成 26 年度決算	平成 27 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源	4,742 千円		951 千円		611 千円								
		計(A)	4,742 千円		951 千円		611 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	588 千円		0.100 人	577 千円		0.100 人	581 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		5,330 千円		1,528 千円		1,192 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	男女共同参画意識の形成の促進を図るために必要な事業です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	男女共同参画意識の高揚を図るために有効な事業です。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	啓発事業を増やして、男女共同参画社会に関する意識のさらなる高揚を図る必要があると思われますが、現在の人員を鑑みるに、目標は概ね達成できていると考えます。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	より一層の男女共同参画意識の形成を促すためには、男女共同参画担当職員を配置するなど、人員確保が必要と思われます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	男女が対等に社会参加し、共に役割や責任を分かち合える社会を築いていくための施策を推進するには、人員増などの環境・条件等の整備が必要と思われます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	第2次基本計画に沿った事業を今後も進めていきます。					現在実施されている関係部局との連携による開催方法が現地点では良いのではないのでしょうか。講師選択には市民ニーズに事業目的に十分配慮してください。						
	委員会指摘事項												